

## 令和4年度 第1回大野市都市計画審議会の会議結果の概要

日時 令和4年7月1日（金）

午前10時～

場所 結とびあ（大野有終会館）

302号室

### 1 開会

### 2 会長あいさつ

### 3 議事録署名委員選出

石田委員、西川委員を選出

### 5 協議事項

- ・大野市都市マスタープランの改訂について

事務局より資料に基づき説明。

#### 【委員のみなさんの主な意見】

- 計画をどうやって実現するのかや、チェックのための仕掛けなど、重要な点について丁寧に書いてあり、よくできていると思う。
- 市民・事業者、地域、行政による協働のまちづくりについて、「市民・事業者」「行政」は担い手つまり主体が見えるが、「地域」は主体が見えにくい。対等な関係性という視点で、もう少し明確に「地域」の主体が分かる表現にするとよいと思う。
- 一番大事なのは人口フレームであり、全てはここにつながっていると思う。約20年後に人口が推計のとおり減ってしまうという事態は避けなければならない、目標人口は絶対に実現してほしい。そのために、市として力を注ぐべき層は明白であると思う。
- 社会情勢や自然環境が変化していく中で、令和12年度まで待つのではなく、実現化に向けて、おかしいなと思ったら2、3年後でも変更していくことが大事だと思う。
- 「市の歴史」の部分に、幕末の大野藩について進取の気象という言葉と並べて記載してはどうか。

- 越美北線については、星がきれいで鉄道があったら「銀河鉄道の夜」と銘打って夜に鉄道走らせるツアーをするなど、インパクトのある、また別の視点から対応が必要だと思う。
- 「多様な暮らし方、働き方ができる環境づくり」について、今の時代、デジタル技術の活用は不可欠。もしかすると他のすべてより優先して、ここを強化すると大野市は充実する可能性があると思える。

## 6 その他

## 7 閉会